



## 旅行と教育

校長 笹原 秀之

### <人の心に触れる旅行>

部屋を出る時、「ありがとうございました。」という気持ちを込めてチップを置きました。もちろん、ベッドメイキングは仕事として行われています。しかし、そこには、訪れる人が気持ちよく過ごせるようにという気持ちがこもっています。

観光地などを回って、疲れてホテルに着くと、きれいに清掃された部屋でピンとしたベッドに入ることの気持ちよさ。疲れをいやしてくれて、よい旅行をサポートしてくれます。欲しい時に欲しいものがそこにあるサービス。ありがたいと思いました。

我々は、整った環境等も含めて、サービスへの代価として料金を支払っています。宿泊施設なども心地よいことに越したことはありません。しかし、それをどこまで求めるかは各自の事情により変わってきます。人により異なるとは思いますが、旅行にサービスを求めて出かけている方も多いのではないのでしょうか。

1学期の終わりに、夏休みは沖縄に行くんだ。とか、一人でおばあちゃんのうちに泊まりに行く。とか、家族でキャンプに行く。などと話してくれた子がいました。きっと子どもたちは、この夏、様々な所に出かけたと思います。おいしいものを食べ、楽しいショーを見るなどのサービスを受けて、どのような思い出ができたのでしょうか。これからAIの進歩により、様々な仕事が取って代われ、人が行う仕事がなくなっていくと言われていています。人と自然に会話ができるAIチャットボットの開発も行われているようですし、ロボットが働くホテルもできています。しかし、相手を思いやるサービスや、その時々の変化に対応するサービスなどは、まだまだ人間以外にできるものではありません。人の心に触れる旅行は、これからも貴重なものだと思います。教育も授業などの子どもへの直接的な働きかけだけではなく、それまでの準備や事後の対応など目に見えない取組が様々あります。その点ではホテルのサービスと同様ですが、子どもたちにどこまでサービスするか、あえてしないで見守るかは教育の重要な部分でもあります。与えるもの、量、タイミングなどは子どもの何を育てたいかによって、また、その子の状況によって変えていくことがポイントとなります。保護者の皆様も是非考えてみてください。



### <人の姿に出会う旅行>

私が旅行で楽しみにしていることがもう一つあります。それは、地元のスーパーやお店、生活の様子などを見てくることです。人はそれぞれの環境に合わせて生活していて、また、そのスタイルも異なっています。山積みになって売られている野菜、見たことのない果物や魚、建物の違い等々。観光地のように目立つものや整えられているものだけではなく、その地の生の姿をほんの少しでも見ることは、その土地を感じ、人を感じ、空気を感じる楽しさがあります。時には思わぬ発見をすることもあります。

目立つところだけを見ては全体像が見えないというのは子どもも同じです。学校で見せる姿もあれば家庭でしか見せない姿もあります。もっと言えば、教室で見せる姿と外で遊んでいる時に見せる姿にも違いがあるかもしれません。このことを理解して指導を行わないと的確な指導は行えません。

学校でも、2学期、さらに子どもを深く理解しながら指導を行ってまいります。

今学期も、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

